

2019 年度  
問 題  
新思考入試 (地域連携型)  
試験時間 120 分

**注 意 事 項**

1. 試験開始の指示があるまで、問題冊子、解答用紙および下書き用紙には手を触れないこと。
2. 問題は次のページ以降に記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、落丁・乱丁および解答用紙の汚損等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
3. 解答はすべて、HBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで記入すること。
4. 受験番号および氏名は、試験が開始されてから、解答用紙の所定欄に正確に丁寧に記入すること（以下の記入例参照）。所定欄以外に受験番号・氏名を書いてはならない。
5. 受験番号の記入にあたっては、次の数字見本にしたがい、読みやすいように、正確に丁寧に記入すること。読みづらい数字は採点処理に支障をきたすことがあるので、注意すること。

(記入例) 66001番 ⇒

6	6	0	0	1
---	---	---	---	---

(数字見本)

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

6. 解答はすべて所定の解答欄に記入すること。所定欄以外に受験番号・氏名を含む何かを記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
7. 試験終了の指示が出たら、すぐに解答をやめ、筆記用具を置き、解答用紙を裏返しにすること。
8. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。
9. 試験終了後、問題冊子と下書き用紙は持ち帰ること。

**答案作成上の注意**

1. 句読点、記号等、および改行のために生じる余白もすべて字数に含む。また、解答用紙の字数を超えて解答してはいけない。（句読点、記号等は、必ず独立した一マスを使用する。）
2. 解答は横書きとし、楷書で左から右へと書くこと。
3. 解答用紙は汚したり、折り曲げたり、破ったりしないこと。

## 問1

右頁のグラフは、平成27年度の国勢調査の結果の一部で、「年齢5歳階級別人口に占める移動人口の割合」を男女別に示したものである。

具体的には、平成27年時点での年齢に基づいて0~4歳、5~9歳、10~14歳と5歳ごとにまとめられた集団ごとに、この5年間で居住地を移動した人を対象として、①5年前と同じ市内で移動した（自市町村内）、②同一県内だが異なる市に移動した（県内他市区町村）、③別の県に移動した（他県）、および④国外に移動した（国外）、の4つに類型化して、当該年齢層に占めるそれぞれの割合が棒グラフと数字（一部のみ）で示されている。

このグラフに基づいて、以下の設問に800字以上1200字以内で解答しなさい。

設問 「年齢5歳階級別人口に占める移動人口の割合」の男女のグラフを比較して、両者で共通する点と異なる点を指摘し、それぞれについて、そのような傾向が生じる理由について考えるところを記述しなさい。

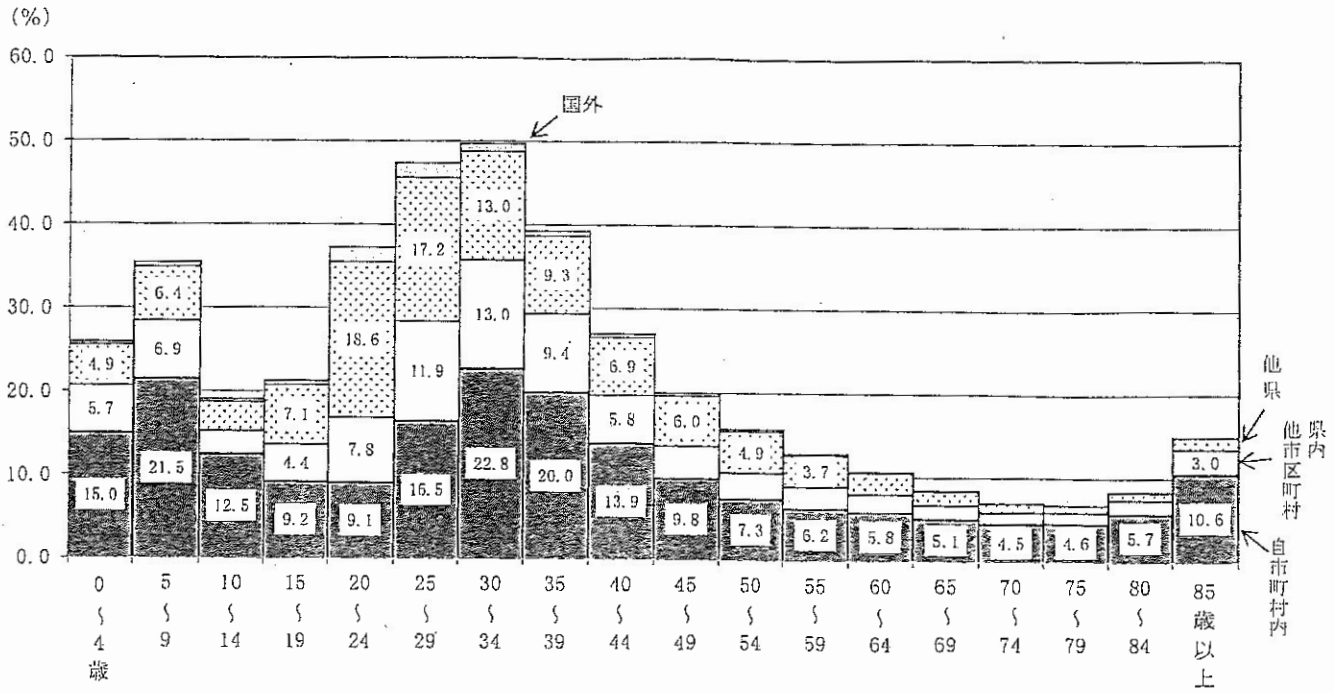
## 問2

あなたが提出した「課題レポート」の内容を振り返り、どのような点が評価されたと考えていますか。あなたの「課題レポート」の内容の優れた点と課題だと思われる点を、具体的に説明しなさい。字数の下限は設けないが、解答用紙の指定欄の範囲内でまとめること。

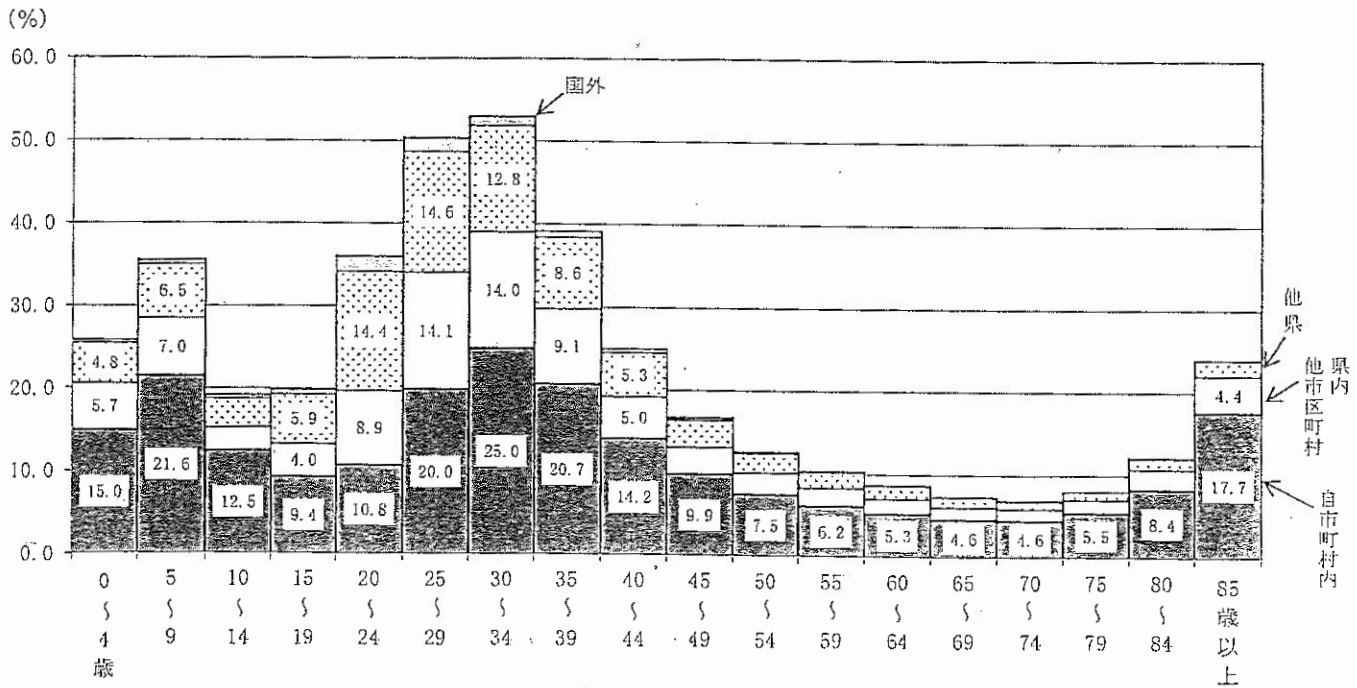
(参考) 入学試験要項に示されていた「課題レポート」に書くべき内容

- ① どのようなことをその地域の課題と考えているか
- ② 志願者自身がその課題があることを意識したのはなぜか
- ③ その課題に関連して今までどのような活動を行ってきたのか
- ④ 当学のどの学部に入學し、何を学習したいと考えているか
- ⑤ 卒業後にどのように地域へ貢献することを考えているのか

男



女



注) 「自市町村内」は、「自市区町村内」と「自市内他区」の合計

図 5年前の常住地、年齢(5歳階級)、男女別移動人口の割合(全国 平成27年)

出典: 総務省統計局(2016)『平成27年国勢調査 移動人口の男女・年齢等集計結果 結果の概要』

[以下余白]




600


700


800

---


900


1000


1100

1200

<以下余白>

<3枚中3枚目>







